

東日本大震災から8年

そな—えボランティアサミット

# 未来をひらく

~3.11から~

震災から学び「未来をひらく」ことを目指す

被災地そして被災者から私たちは何を学び取り、そしてその学びをどう未来につなげていくのか—  
参加者一人一人が向き合い、語り合い、実践につなげる機会にしたいと考えています。是非、ご参加下さい。

## 《会場》

埼玉県防災学習センター そな—え  
3階 研修室

〒369-0131 埼玉県鴻巣市袋30番地 電話: 048-549-2818  
JR高崎線 北鴻巣駅東口から徒歩約20分 吹上駅北口から徒歩約25分  
鴻巣市コミュニティバス フラワー号 「アピタ吹上店」下車徒歩5分



駐車場はございますが  
数に限りがありますので、  
なるべく公共交通機関を  
ご利用ください。

# 2019.2.16

11:00~17:00

参加無料

## 《タイムスケジュール》

11:00~12:00

佐藤敏郎さん × 只野哲也さん講演会  
(定員140名 予約不要)



さとうとしろうさん●2015年から、震災  
当時小学生だった高校生が若者とティス  
カッションをする企画「あの日を語る」、  
未来を語る」を各地で展開。2016年116  
歳の喜び部(ホブラ社)を刊行。震災で当  
時大川小学校6年の次女が犠牲に。



ただのてつやさん●東北学院  
大学1年生。東日本大震災で84  
人が犠牲となった大川小学校  
で主体的に生還。中学校の時、  
故郷の保存についての意見表  
を行った。

「未来をひらく  
~3.11から~」  
実行委員会の  
概要



主に埼玉県内在学・在住の大学生によって組  
織されました。  
個々にボランティア活動を展開していた  
学生たちが集結。実行委員長の菅野雄  
大(聖学院大学4年生・写真中央)を  
中心として、「未来をひらく」を  
キーワードにこのイベントを  
企画・運営しています。

12:00~13:00 休憩

※昼食を取られる方は近隣の飲食店をご利用ください

13:00~14:00

佐藤敏郎さん × 只野哲也さん × 学生ボランティア  
“未来をひらく”座談会

(定員140名 予約不要)

登壇: 畠山玲那(桜美林大学1年)・姫野愛菜(聖学院大学1年)  
進行: 川田虎男(聖学院大学ボランティア活動支援センターアドバイザー)

14:00~15:30 グループワークショップ

(定員60名 大学生、高校生限定 要予約) ご予約は右記QRコードから



15:30~17:00 懇親会 (グループワークショップ参加者のみ)

＜主催＞ 埼玉県防災学習センター  
＜共催＞ 「未来をひらく~3.11から~」実行委員会・聖学院大学ボランティア活動支援センター  
＜協力＞ 一般社団法人Smart Survival Project・立正大学社会福祉学部ボランティア活動推進センター  
〔「未来をひらく~3.11から~」実行委員会構成団体〕 立教大学新座キャンパス復興支援ボランティアThree-S ・桜美林大学SLC-V ・立正大学順谷キャンパス学生個人ボランティア ・聖学院  
大学STEP ・聖学院大学復興支援ボランティアチームSAVE ・埼玉県防災学習センター ・立正大学社会福祉学部ボランティア活動推進センター ・聖学院大学ボランティア活動支援センター

CREATING A  
FUTURE  
FROM 3.11